

ジョブローテーション、乗務員勤務制度改悪、ダイ改合理化、ローカル線切り捨て反対！ 定年延長と 65 歳まで働ける職場を！

JR西小浜線・越美北線減便計画に地元「到底受け入れられない」

線区	区間	現行	減便後	減便の内訳	
				早朝・夜間等	昼
小浜線	敦賀—小浜	30本	24本	▲2本	▲4本
	小浜—東舞鶴	26本	22本	▲2本	▲2本
越美北線	福井—越前大野	18本	15本	▲2本	▲1本
	越前大野—九頭竜湖	9本	9本	現行どおり	

JR西日本は10月ダイ改で全社130本規模の減便計画を発表しています。この中で沿線自治体から反対の声が上がっています。

小浜線・越美北線：約2割の削減計画

JR西日本は小浜線、越美北線の減便案を地元自治体に明らかにしました。小浜線は敦賀—小浜間、小浜—東舞鶴間で計10本、越美

- 7月16日、福井県知事や県議会議長、沿線市町長らはJR西日本の小浜線や越美北線の減便計画に対して、運行本数の維持などを求める要望書を提出。
- 福井県・杉本達治知事「性急に合理化を進めようとしており、地元にとって到底受け入れられない」
- JR西日本は10月に全社で130本規模の減便を予定

地域切り捨ては許されない

北線は福井—越前大野間で3本削減という計画で、削減率は約2割です。

計画発表に先立つ7月16日には、福井県知事が便数維持などを求める要望書を提出しています。住民の重要な交通機関であり、「地元にとって到底受け入れられない」と訴えられている中で減便案が打ち出されています。

7月17日には赤羽国交相が芸備線について「安易に廃線なんていうことはしないでくれ」と述べています。車いすの方の「交通権」をめぐり裁判が起こされるなど、高齢者や障害者、地方切り捨てへの反対の声が高まっています。その中で、国

も「安易に切り捨てるな」と言わざるを得ない状況です。

JR東日本は駅要員の大幅削減や大規模なワンマン運転拡大など、地域切り捨ての施策を進めています。「公共交通機関としての使命より利益優先」などあつてはなりません。



21年7月16日朝日新聞より